

令和5年度 社会教育委員 第1回臨時会議の概要

1. 日時	令和6年1月9日(火) 14:00～15:30
2. 場所	市役所3階 302会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】 6名出席 (小林いせ子副委員長 宮坂委員 児玉委員 飯島委員 欠席)</p> <p>【市職員】 小岩教育部長 宮坂生涯学習課長 高島生涯学習主幹兼係長 丸山生涯学習担当係長 宮坂社会教育指導員</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <p>1. 開会 (宮坂課長)</p> <p>2. ①あいさつ (宮坂課長) 生涯学習基本計画の中間年の見直しで、社会教育委員のご意見をいただく。</p> <p>②あいさつ (小岩教育部長) 成人式を実施し、出席率もよかった。能登の地震では千曲市は被害がなかったが、千曲市からもできることはやっていきたい。市役所にも募金箱を設置した。生涯学習基本計画について、改めてご指摘、ご確認をいただきたい。</p> <p>3. 会議事項 (小林京子委員長：進行)</p> <p>(1) 第二次千曲市生涯学習基本計画(改定)の策定について (高島主幹兼係長)</p> <p>① 第二次千曲市生涯学習基本計画中間見直し(概要)</p> <p>一部改定の趣旨 見直し後の計画期間 一部改定における共通事項 主な改定内容</p> <p>② 第1章「学ぶ意識を高める」 ～みんなが自発的に学び、続けることで学ぶ能力がついていく～</p> <p>1 健康づくりとスポーツの振興 2 文化芸術の振興 3 情報化・ネット社会に対応した学習の推進 4 ライフステージに合わせた学習の推進</p> <p>③ 第2章「人と人がつながる」 ～学ぶことで多くの仲間が増え、いろいろなアイデアが生まれる～</p> <p>1 国際化・多文化共生の推進 2 ボランティアの育成 3 男女共同参画の推進 4 人権学習の推進 5 環境・景観学習の推進 6 防災・安全学習の推進 7 文化財・伝統行事の保護と伝承 8 学校・家庭・地域との協働</p>

④ 第3章「新しい時代を拓く」

～学んだ成果の中から、千曲市に新しい知恵が生まれる～

- 1 成果の発表と評価
- 2 地域への還元
- 3 生涯学習を推進するために

(2) 今後の日程について（高島主幹兼係長）

1月12日（金）より、パブリックコメント 2月13日まで33日間
2月下旬の教育委員会に提出し、決定

(3) その他（高島主幹兼係長）

千曲市社会教育委員 第4回定例会議 令和6年2月9日（金）15:30

【主な協議・意見・要望等】（進行：小林京子委員長）

（○は社会教育委員の質問・意見、▲は事務局からの答弁）

3. 一（1）に関すること

「第2章 2 ボランティアの育成」

○堀口委員

ボランティアの育成をこれからもっとやってもらいたい。ボランティアを作るだけでなく、活用できるようにしてほしい。いろいろな団体が存続維持できるように援助し、増やし、活用してほしい。

○若林委員

ボランティアについては、現状、ボランティアに協力する人が少ない、若い人がいない。同じような活動をしている団体があるので、拡大したり増やしたりするのではなく、まとめてもらい、本当に必要なのか吟味していかないと負担が増える。

○小林委員長

ボランティアの育成と推進と活動の場があるが、ボランティアを育成してその後どうするのか。

○若林委員

若い人がいない。お金がもらえないならやらないという考えもある。厳選したほうがいい。関わる人はあちらこちらに関わるが、全く関わらない人もいる。やりたくてやっている人、やりたくなくてやっている人がいる。負担をかけると、今後が続かないと思う。

○堀口委員

ボランティアをする人が、喜ばれてやりがいを感じる、それがあべき姿。人手不足を補うような状況になってしまうことが懸念される。

「第2章 4 人権学習の推進」

○堀口委員

成人式で千曲市に戻って来てほしいという挨拶があったが、選挙に行くことを勧めてほしい。

▲高島主幹兼係長

いただいた意見を、担当課に伝える。

「第3章 3 生涯学習を推進するために」

○中島委員

「生涯学習の拠点となる生涯学習センター及び公民館の在り方についての調査・検討結果を踏まえた機能・体制づくりを進める」とあるが、調査して取りまとめている進捗状況を教えてほしい。また、「施設の整備・充実を図る」とあるが、たとえば戸倉体育館の耐震工事などどうなっているのか、それをふまえた結果を反映しているのか、具体的な取り組みは入っているのか。

▲宮坂生涯学習課長

公民館については、新型コロナウイルス感染症の影響で4年間十分な活動ができなかった。分館事業についても厳しい状態。昨年度から、元に戻すのではなく、これからどうしていくかを地域の皆さんと考えている。また、年金受給年齢の引き上げにより、以前のように60歳からの公民館活動への参加が期待できないこともあり、次の展開を手探りしている。市では、人口減少に伴い、いくつかの地域でまとまって進めていくような取り組みを始めてる。今の役員の皆さんのご意見をいただき、来年度以降に生かしていく。

▲小岩教育部長

戸倉体育館については、耐震化を中断し、建て替えを目指す。体育施設の整備・充実については、生涯スポーツを充実できるように推進していく。

○中島委員

耐震、修繕は行わず、建て替えるという理解でよいか。

▲小岩部長

令和10年度国民スポーツ大会も行われるので、現体育館を利用しながら、今の北側に新しく造る。

○中島委員

生涯学習には、健康が大事。温泉施設もあり、条件的に健康づくりと生涯学習という考えでいけば、千曲市として理解されやすいのではないかと。公民館が生涯学習の総本山であると思っている。公民館と私たち社会教育委員が連携できるような施策があればよいのではないかと。

○小林京子委員長

公民館が社会教育委員を推薦し、任命されるというものである。だが、社会教育委員と公民館や学校との関係は地区によってそれぞれ違う。

▲宮坂生涯学習課長

公民館によって差があるのは事実であるので、社会教育委員との連携について公民館に伝える。

○山崎委員

昨年、社会教育委員として自治会長、公民館長、育成会長に呼びかけて子ども花火大会を企画した。実行委員会ができるまで、責任者としてかかわった。社会教育委員として公民館と連携できた。

○塚原委員

更級には公民館本館がない。不平等かなと思っている。更級で集まって、ということがなく、公民館活動は各分館でやっているものだけである。

○中島委員

コロナでやっていたことが、途絶えてしまっている。何か考えていかないといけない。

○堀口委員

社会教育は公民館が主となっている部分が多い。公民館を活性化し、生かしていきたい。

○山崎委員

須坂市では、公民館報が市報に統合されている。須坂市の中央公民館では前向きな取り組みがあったが、廃止されたのか？公民館に関しては縮小なのか。

▲宮坂生涯学習課長

生涯学習についての予算は削られている。なんとか予算を確保しながら、新しいことも手探りで進めていきたい。地域貢献に時間を割くことが難しいという意見もあるが、地域のつながりは大切なので、その呼びかけを生涯学習課ではしていきたい。

▲高島主幹兼係長

本日示した第二次千曲市生涯学習基本計画（改定）については、了承いただいたということで、生涯学習推進本部に報告し、最終的に決定へ持っていきたい。

5. 閉会（宮坂課長）